

Frente

フレンテ

フレンテとはスペイン語で「前向き」という意味です。

vol.41
2010.4

2010年



どんな年？

これまでの10年、これからの10年



三重県 男女共同参画 推進条例

制定から10年

男女共同参画情報

三重県の
男女共同参画に関する
県民意識と生活基礎調査から

どうかエル？
わたしたちの働き方

男女共同参画と
ワーク・ライフ・バランス

改正労働基準法 施行！

男女がいきいきと働いている企業認証制度

Essay 世界を旅して、女性の生き方をみる

ビジネスウーマンと未来
津市出身の作家 中村安希さんエッセイ

三重県の男女共同参画意識はいま？ 「男は仕事、女は家庭」

最新情報！

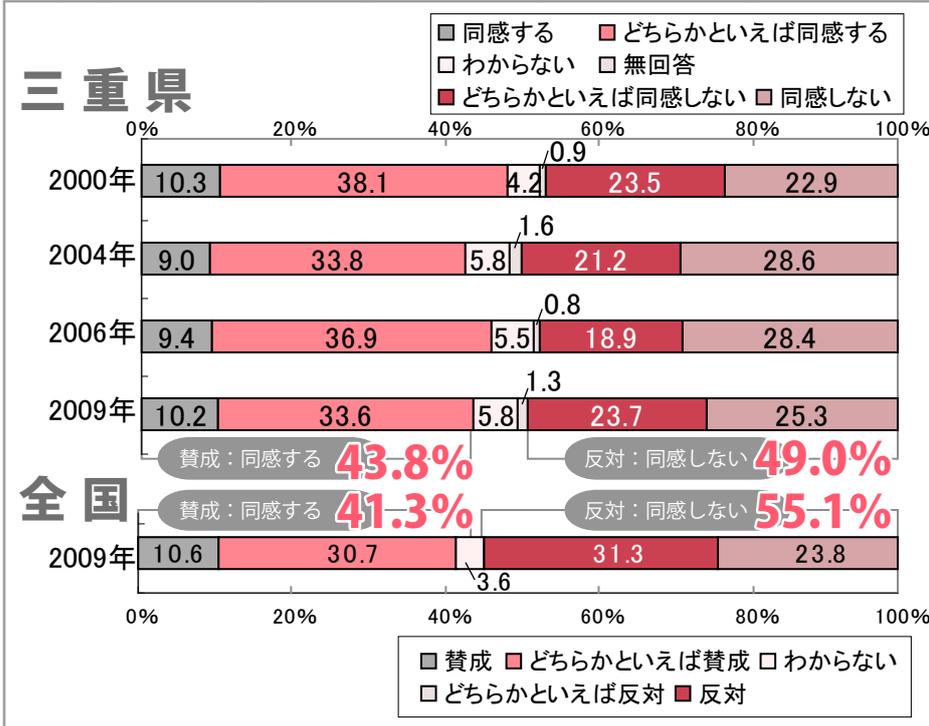
男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査（平成21年9月実施）より

三重県の男女共同参画に関する意識調査結果がこの春公表されました！

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、国の調査では『同感しない』と答えた人の割合は55.1%と年々増加傾向。一方、三重県では2004年以降『同感する』を『同感しない』が上回っていますが、いまだ50%を超えない状況です。

さまざまな問題が山積している日本の社会情勢ですが、変化に対応し希望の持てる明るい未来をつくっていくためには、男女共同参画社会の実現が重要かつ緊急の課題となっています。

2010年度のフレンテみえのテーマは“働き方”！一人ひとりが自分らしく働くことができる、多様な働き方について一緒に考えてみませんか？



三重県 男女共同参画 推進条例

制定から **10** 年

2010年
テーマは

“働き方”！

女子差別撤廃条約の採択などの動きを背景とした世界的な女性運動の広がりを受け、1999(平成11)年6月23日「男女共同参画社会基本法」が公布および施行されました。

基本法の理念を踏まえ、2000(平成12)年10月13日には「三重県男女共同参画推進条例」が公布・制定されました。

県民・事業主の皆さん、市町と協働して男女共同参画社会を実現していくため、条例には4つの基本目標が掲げられています。



制定から10年を総括するため、県ではこれまでの取組を検証し、今後の施策を推進していく基礎資料として10年間の県民意識調査の推移と生活状況の変化の分析を行いました。

フレンテみえでも『三重の女性史』や「ジェンダー統計」等の調査研究教材を用いて県民のみならず、さまざまな課題に取り組んでいきます（ジェンダー統計については裏面をご覧ください）。

4つの基本目標

- ① 個人として能力を発揮する機会の確保
- ② 制度や慣行の改善
- ③ 方針の立案及び決定に参画する機会の確保
- ④ 家庭生活における活動とその他の活動を両立できる環境の整備

- フレンテみえのホームページ「参画ゼミ」で「三重県男女共同参画推進条例制定から10年～過去・現在・未来～」を開講中です。
- 11月開催の「男女共同参画フォーラム～みえの男女2010～」では条例制定10周年を記念する内容で実施します。
- 2009年秋に発行した『三重の女性史』では明治から2000年（三重県の条例が制定された年）までの内容を掲載しています。

これからの社会に
求められる
ワーク・ライフ・バランス
とは



「10年後、2020年には介護休業を取る
団塊世代ジュニアが急増します。
ワーク・ライフ・バランスという
働く女性への支援と見られがちですが
実は男性の働き方も重要な問題。
ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を
していない企業は将来人材不足で持続不可能！
大変なことになりますよ。」

(株)ワーク・ライフ・バランス代表取締役社長 小室淑恵さん
2010年2月27日「みえチャレンジシンポジウム」基調講演

国では2008(平成20)年を「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)元年」と位置づけ、さまざまな取組が始まりました。

しかし、2010(平成22)年2月に公表された内閣府「仕事と生活の調和と最近の経済情勢の影響に関する意識調査」によると、「全体として、経済情勢の悪化の影響が収入の減少や生活満足度の低下に現れている。その一方で、『組織全体で』『自ら努力して』など主体的な要因で仕事の時間短縮、または仕事時間の減少の代わりに家族との時間を増やしたことで生活満足度の向上につながった人は多くなっているが、一部にとどまっており、引き続きワーク・ライフ・バランスの理解を進める必要がある」と報告しています。

ワーク・ライフ・バランスの実現を目指して行われている
国や県の最新の取組を紹介します。

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)
が実現した社会

国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」より

●フレンテみえのホームページ「参画ゼミ」で渥美由喜さん「不況期にこそワーク・ライフ・バランスを！」を開講中です。

これからの職場環境づくり

◎改正労働基準法

2010年4月1日施行

現在、週60時間以上労働する労働者の割合は30歳代の子育て世代の男性で20%と長時間労働者の割合が高くなっています。長時間労働を抑制し、労働者の健康を確保するとともに仕事と生活の調和がとれた社会を実現することを目的とした改正労働基準法が成立しました。

また6月30日からは改正育児・介護休業法が施行され、男性の子育て参加、仕事と育児・介護の両立支援が一層進められます。

改正のポイント

I 「時間外労働の限度に関する基準」の見直し関係

・「時間外労働の限度に関する基準」が改正され、労使当事者は限度時間を越える時間外労働に対する割増賃金率を引き上げるよう努めること等とされます

II 法定割増賃金率の引上げ

・月60時間を超える法定時間外労働に対して、使用者は50%以上の率で計算した割増賃金を支払わなければなりません
・引き上げ分の割増賃金の代わりに有給の休暇を付与する制度(代替休暇)を設けることができます
・中小企業には当分の間適用が猶予されます

III 時間単位年休

・労使協定により年次有給休暇を5日間分を限度として時間単位で付与することができるようになります

◎「男女がいきいきと働いている企業」

認証制度が始まります！

三重県では、2010(平成22)年度から、男性も女性も各々が持てる力を十分に発揮できる「働きがい」のある職場環境づくりを目的に、女性の能力活用や仕事と家庭の両立支援、次世代育成支援などに積極的に取り組まれている企業(法人)を認証する「認証制度」を実施します。また、当該年度の認証基準を満たした認証企業(法人)の中から知事表彰企業(法人)を選考します。



- 応募対象 県内に本店または主たる事務所があり、県内において事業活動を行う常時雇用労働者を有する法人(営利・非営利を問いません)
- 応募方法 企業(法人)からの直接応募。応募用紙等に記入のうえ郵送または持参で提出。
- 募集期間 6月29日(火)必着
- 問合せ先 三重県生活・文化労働・雇用支援室(059-224-2454)

●男女共同参画フォーラム～みえの男女2010～の2日目(11月13日(土))の会場で知事表彰式を行います。

男女共同参画強調月間 ff (フォルティッシモ)

内閣府が主催する男女共同参画週間（6月23日～6月29日）にちなみ、フレンテみえでは6月を男女共同参画強調月間 ff と位置づけてさまざまな事業を行います。

6/4 [金]
5 [土]

10:00～16:00
フレンテみえ1階
多目的ホール、
知識の広場 ほか
フリーマーケット
舞台発表
活動展示
ワークショップ
など

フレンテまつり ～フレンテみえ登録団体の活動発表～

今年で
8回目!

フレンテまつりは、登録団体同士の交流とネットワークづくり、また、県民のみなさんとの交流を目的に、登録団体の自主企画・自主運営で開催しています。



登録団体が 協働・連携でつくる フレンテまつり



実行委員会の様子。会場全体を回っていただけるようにスケジュールやレイアウトなどの協議がなされました。

実行委員会が活躍しています!

昨年も 2000 人を超える来場者数となったフレンテまつり。フレンテまつりに参加したことをきっかけに新たに登録、参加する団体・グループも増え、団体のネットワークの輪はさらに拡大しています。

今年は過去最高数となる約 50 団体が実行委員会に参加して自主企画・運営で開催に向けた準備が進められています。

2010 年 3 月、第 1 回実行委員会では担当団体による司会進行のもと「フレンテまつり」の全体構成や事前広報活動、当日を盛り上げるための工夫について検討しました。参加団体のみなさんから参加者目線に立ったさまざまな意見が飛び交い活発な意見交換の場になりました。

年々盛り上がっていく「フレンテまつり」にご期待ください!

フレンテみえ 企画・運営サポーターとともに

三重県の意識調査結果を受けて (P1)、身近な課題がたくさんある男女共同参画についてもっと知っていただこうとパネルプレゼンテーションを行います。

自分らしく生きるために必要な男女共同参画について一緒に考えましょう!



point 1

男女共同参画の意識を考えるワークショップや、屋外フィールドワーク企画などが新登場!

point 2

毎年好評のスタンプラリー! 男女共同参画のメッセージのこもったプレゼントを用意しています!

フレンテまつり
の詳細は...

フレンテまつりのチラシおよびフレンテみえ HP でご案内します。ご家族で参加いただけるイベントもたくさんあります! お誘いあわせの上、お越しください。

6/5 [土]

13:30～15:00
フレンテみえ1階
多目的ホール

香山リカさん講演会

フレンテまつり2日目は
講演会!

「自分らしく生きるための処方箋」

「しがみつかない生き方『ふつうの幸せ』を手に入れるための 10 のルール」等の著書でおなじみの香山リカさんから、家庭・職場・社会で感じる生きづらさから解放され、一人ひとりが持っている能力を活かして、自分らしく生きていく“コツ”をお話いただきます。

香山さんの著書はフレンテみえ情報コーナーで貸出しています!

自分らしい“働き方”を考える上でも欠かせないポイントです!

先着 350 名
申込受付中!



プロフィール 精神科医

立教大学現代心理学映像身体学科教授
東京医科大学卒。学生時代より雑誌等に寄稿。その後も臨床経験を生かして、新聞、雑誌で社会批評、文化批評、書評なども手がけ、現代人の“心の病”について洞察を続けている。専門は精神病理学だが、テレビゲームなどのサブカルチャーにも関心を持つ。

著書紹介

「くらべない幸せ～誰かに振り回されない生き方～」
出版社：大和書房
発行：2010 年



6/12 [土] - 7/10 [土]

県内各地域でも男女共同参画週間にあわせてさまざまな事業が開催されます！

つながる ひろがる メッセージ
三重県内男女共同参画
三連携映画祭 2010

映画でみつけよう！～男女が共に生きるヒント～
今年で4年目を迎える三重県内男女共同参画連携映画祭。
さらに規模を拡大して県内10ヶ所で開催します。

連携映画祭は市町行政や男女共同参画センター間の連携・協働はもちろんのこと、さらに県民の方も一緒になって企画・運営をしていることが特徴です。さまざまな主体との協働・連携のもと、映画を通して男女共同参画について考える場を創るため準備中です！当日の会場でお待ちしています。

連携映画祭とは

2007年 三重県男女共同参画センター、四日市市男女共同参画センター、鈴鹿市男女共同参画センターの3館連携・協働でスタート！

2008年 3館に伊賀市・名張市の2市が加わり3館&2市連携に！

2009年 さらに伊勢市・志摩市・亀山市の3市が加わり3館&5市の連携で開催！

映画祭2010スケジュール

映画で男女共同参画を考えよう

開催日	開催地域	上映作品
6月12日 [土]	尾鷲市(共催：フレンテみえ、御浜町) 会場：尾鷲市中央公民館	西の魔女が死んだ
6月13日 [日]	鈴鹿市 会場：鈴鹿市ふれあいセンター	60歳のラブレター
6月19日 [土]	志摩市 会場：志摩市 阿児ライブラリー	おくりびと
6月20日 [日]	伊賀市 会場：ふるさと会館いが	幸福な食卓
6月26日 [土]	亀山市 会場：亀山市文化会館 中央コミュニティセンター	ディア・ドクター
6月27日 [日]	津市 会場：津市 サンヒルズ安濃	アイスエイジ3
6月27日 [日]	名張市 会場：名張市総合福祉センター「ふれあい」	60歳のラブレター
6月27日 [日]	伊勢市 会場：伊勢市 ハートプラザみその	60歳のラブレター
7月3日 [土]	四日市市 会場：四日市市総合会館	ココ・シャネル
7月10日 [土]	桑名市 会場：桑名市市民会館	ミス・ポター

※映画料金・整理券の配布、託児の対象年齢・定員・申込締切など会場により異なります。詳しくは三重県内男女共同参画連携映画祭2010チラシまたはフレンテみえホームページなどをご覧ください。

みんなで創る映画祭！



亀山市では市民のみなさんとともに当日の会場を運営！協働で作成した啓発パネルの展示と解説で会場を盛り上げました。



フレンテみえ企画・運営サポーターのメンバーが、各市・センターで開催されるアフター・トークのファシリテーターとして大活躍しました！

三重県最大級の映画祭！

9/10-12 [金][日] 9/10-12 [金][日]
そうぶんシネマスクエア 2010

フレンテみえでの映画上映はこちら！

三重県総合文化センターでは、さまざまな世代の方を対象に映画をじっくり愉しんでいただけるイベント「そうぶんシネマスクエア2010」を開催します！「THE ダイエット！」「女の子ものがたり」や三重県にゆかりの映画上映はもちろん、男女共同参画の視点で映画を見ていただくパネル展や解説、「THE ダイエット！」上映にあわせて関口祐加監督

トークなど、映画を通して元気になってもらえるプログラムを企画しています！映画にまつわる“おいしい”特典もあります ♪ どうぞお問い合わせの上、お越しください。
詳しいご案内は6月頃、ホームページ等のご案内します！

(主催) (財) 三重県文化振興事業団
三重映画フェスティバル実行委員会





アフリカに暮らす女性を想像するとき、まず何が心に浮かぶだろう。例えば、北アフリカのスーダンの女性はどうか。発展途上のイスラム教国スーダン。民主主義の根付いていない、ダルフルの紛争で知られる国。そんなスーダンに広がるサハラ砂漠の小さな村々で、人々は、とりわけ女性たちは、何を想い、どんな暮らしを営んでいるのだろうか。

昨夏、私はエジプトからナイル川沿いに南下してスーダンに入国し、その道中で偶然立ち寄ったアプリという村で数日を過ごした。村を去る前日の夕方、私は一人の女性と知り合った。女性の夫に仕事はなく、家族の中には病人もいて、一家の家計は彼女の肩に重くのしかかっていた。女性は、外国人の私の姿を見つけると「助け」を求めてきた。

「新しいビジネスを始めようとプリンターを購入したのですが、プリントがうまくできないのです。もし、パソコン機器のことが分かるなら、助けてもらえますか?」と。

機械には強くないけれど、プリントくらいなら私にだってできるだろう。そこで、私たちは女性の店(プレハブの小屋へ移動すると、近隣住民を巻き込んだプリント大作戦を展開した。

女性と私を中心に、男性たちも奮起した。まずは電気を起こすために、男性が外でスタンバイしてジェネレーターを動かしてくれた。別の男性が、沸騰するラジ

エーター(冷却装置)に水を足し、気温50度に迫る灼熱の砂漠でジェネレーターを爆発させないよう作業に当たってくれた。私と女性は小屋の中の砂を払うと、ソフトウエアと配線を最初から確認し直した。けれど、プリンターは思うように動いてはくれなかった。日が暮れて、暗くて手元が見えなくなった。

—世界を旅して、女性の生き方をみる—

ビジネスウーマンと未来

スーダン

ノンフィクション作家 中村 安希 さん

すると今度は、女性の夫が電球とソケットとケーブルを引っ張りだしてきて、銅線を器用につなぎ合わせ、小屋に灯りを点してくれた。玉の汗が全身から噴き出してくる。それでも誰も諦めようとしない。『ビジネスをスタートさせる』という女性の熱意と執念が、私たちの心を動かし、手を動かさせ、数時間の格闘の末、ついにプリンター

まで動かした!受注していた印刷物がプリンターから出てくると、私たちは手を取り合って喜んだ。

砂漠の中の小さな村で、失業中の夫と病人を抱え、とくに教養もない女性を選んだ道は、物乞いでも売春でもない「ビジネス」だった。プリント屋という大胆な発想を実行に移すために、彼女は銀行から借金をしてパソコンやプリンターを購入し、独学で勉強を続け開店にこぎつけた。これから写真印刷業にも力を入れたいという彼女に、私はフォトプリンターの使い方を教え、フォトショップというソフトについて説明した。女性は目を輝かせ、とても熱心に聞き入っていた。

社会が悪い、政治が悪い、女性だからチャンスがない、と嘆くことなら誰にでもできる。けれどそれでは、未来は何も変わらない。彼女の前向きな姿勢と、それを支えようとする男性たちの奮闘の中に、この小さな村の未来の姿を垣間見た気がした。

私は、女性がお礼にと入れてくれたミルクティーを、病気で寝ているご家族の隣で頂いた。ビジネスが軌道にのり、病状が回復することを、心の底から願いながら。



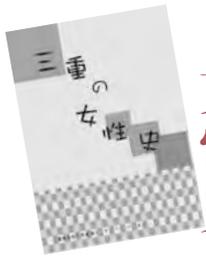
スーダンのとある村で



執筆者紹介

中村 安希 さん

1979年京都府生まれ、三重県育ち。98年三重県立津高等学校卒業。2003年、カルフォルニア大アーバイン校舞台芸術部卒。社会人生活を経て06年ユーラシア・アフリカ大陸へ旅行。各地の生活に根ざした「小さな声」を求めて47カ国をめぐる。08年帰国。国内外にて写真展、講演会をする傍ら、世界各地の生活、食料、衛生環境を取材中。他に海外情報ブログ「安希のレポート」(<http://asiapacific.blog79.fc2.com/>)を更新中。09年、体験をつづった『インパラの朝』で開高健ノンフィクション賞を受賞。



三重の女性史

明治～2000年にかけての女性の歴史を通して、聞き書き・年表の3部構成で紹介しています。5年をかけて県民のみならず協働で調査研究に取り組み2009(平成21)年秋、発行しました！

2009年11月、男女共同参画フォーラム～みえの男女2009～での発刊記念イベントでお披露目となった『三重の女性史』。

県内の図書館や市町役所、高校、大学、県内の男女共同参画センター、各都道府県の男女共同参画関連施設などにお届けし、みなさんのお近くでも手にとっていただけるようになってきました。

完成した『三重の女性史』をより広く紹介していくため、2010年の出前フレンテではイベントの開催地域に応じた『三重の女性史』情報をお届けしています！

また企画内容により「三重の女性史研究会」と協働で行っています。

その活動について一部をご紹介します。

ジェフリーふえすた2010 2/14

鈴鹿市男女共同参画センター
ジェフリーふえすた
(鈴鹿市)

鈴鹿市で聞き書き調査にご協力いただいた山本和子さん(賃金昇格差別訴訟を闘った女性)をパネル展示。『三重の女性史』に掲載している鈴鹿市にちなんだ女性を一覧でご紹介しました。

はもりあ月間ワークショップ 3/6

四日市市男女共同参画センター
はもりあ四日市
(四日市市)

『三重の女性史』ができました」と題して、作成の経緯・概要・これからの取組について研究会のメンバーが紹介しました。三重の女性史ができるまでの経緯では協働で作成したDVDもご覧いただきました。



四日市市での企画ではアイリス嵐山・NPO法人四日市市男女共同参画研究所にご協力をいただくなど研究会のネットワークで発信の幅が広がっています！

フレンテトーク & 出前フレンテ

地域で学ぶ男女共同参画！
～学習会からイベントまで～

県内で開催される男女共同参画の学習会に、また地域のイベントにフレンテみえの男女共同参画情報をご用途に応じて地域へお届けします。

学習会では開催地域に応じた『三重の女性史』情報なども紹介しています。

まずはお電話等でスケジュールなどご相談ください。啓発に、学習に、どうぞご利用ください！

受付期間は4～12月です！

「三重の女性史研究会」とは

『三重の女性史』発刊まで協働で調査研究を行った三重の女性史調査研究会のメンバーを中心に結成されたフレンテみえ登録団体です。

完成した『三重の女性史』を広く伝えていくこととともに更なる情報収集にも取り組まれています。

高齢社会を生きる

活動から学ぶ その2 高齢者と子ども



坂倉加代子さん

1940年 四日市市生まれ。
『高齢社会をよくする女性の会』四日市グループ代表。NPO法人四日市市男女共同参画研究所代表理事。NPO法人「よっかい子どものまち」理事。

執筆者

「あの世から来た者と行く者同志」と臨床心理学者の河合隼雄さんは言っていますが、子どもと老人とは相性がいいようです。
以前訪ねた東京の小平市にある施設『ケアタウン小平』では地域の子どもたちのために図書室や芝生の広場が用意されていました。
今や、富山型と言われるほどの存在になった惣万佳代子さんが創った小規模多機能型デイサービスセンター『このゆびとーまれ』は老人だけでなく赤ちゃんも学童も一緒です。赤ちゃんを抱っこした認知症を患う老人の穏やかな表情は忘れられません。
中公新書の『孫の力』を読みました。孫と祖母が遊ぶ、ゆったりした時間が描かれていて、自身の孫との体験も重なり、このかわりは老人にとっても子どもにとっても幸せなものに違いないと実感しました。
昨年、私たちNPOの活動の中で、ほんとうに欲しい子育て支援のコンテストを行いました。最優秀賞に選ばれたのはKさんの「まちの駄菓子屋さん」。行政が設け、地域の老人に運営をしてほしい。駄菓子屋さんなら転勤族でも、ためらうことなく乳母車を押しながらフラリと入って行けるからというものでした。子育て真っ只中にいる核家族のお母さんたちも地域のおじいちゃんやおばあちゃんとのふれあいを求めているようです。

子どもたちが幸せなまちは、きっと老人も幸せにちがいません。

坂倉さんのコラムは今回で終了です。これからも新しいテーマでコラムを掲載していきます。どうぞお楽しみに！



『高齢社会をよくする女性の会』四日市グループは、これからの社会作りのため活動を続けられています。全国の活動は、ホームページ (<http://www7.ocn.ne.jp/~wabas/>) からご覧いただけます。

フレンテみえホームページ
WEB 限定情報 掲載しています！
どうぞご利用ください



フレンテみえのホームページでは、男女共同参画に関する県内外の情報に加え、フレンテみえとは何をしているところなのか、どのようなイベントや講座をしているのかを検索することができます。2010年度の事業についても掲載しています！

フレンテみえ「年間事業のご案内」パンフレットもダウンロードできます！



開催
予告

統計で見る
三重の男女共同参画

県内で調査された統計データをもとに、県民のみならずと協働で三重の男女共同参画の状況を調査・研究し、データブックを作成します！（2011年度発行予定）調査・研究に先駆けて、三重の男女共同参画情報をピックアップしてご紹介するリーフレットを2010年3月発行しました。

7/11（日）
公開講座を
開催します！



NEW



地域の男女共同参画を知ろう！
「市町からこんにちは」

2010年4月から新しいコンテンツをスタートします。三重県内29市町と連携をとり、各市町での男女共同参画の取組や推進状況などをご紹介していきます。

注目



現代社会の問題をテーマに
ますます充実！「男女共同参画ゼミ」

県内外の専門家が男女共同参画に関する旬の話題について解説。いつでもどこでも、男女共同参画が学べます。

最近のゼミテーマは…

渥美由喜さん
株式会社東レ経営研究所
ダイバーシティ&ワーク
ライフバランス研究部長

「不況期にこそ
ワーク・ライフ
・バランスを！」

桜井陽子さん
(財) 横濱市男女共同参画推進
協会理事・統括本部長
NPO 法人全国女性会館協議会
常任理事

「豊かな国の女性
の貧困」

武村泰男さん
元三重県男女共同参画
審議会会長

「三重県男女共同
参画推進条例制定
から10年～過去
・現在・未来～」

フレンテみえ
情報コーナー

あなたの
“知りたい”
を応援します

男女共同参画に関する図書やビデオ、県内外の情報等を受発信！この春から「情報コーナーだより」を発行し、講座・イベントにあわせてお勧め図書などをご紹介いたします。フレンテみえHPの閲覧にもご利用いただけます。

『三重の女性史』も
常時ご覧いただけます！



男性の相談員による
「男性のための電話相談」
予約できるようになりました！

予約優先

- **直通ダイヤル 059-233-1134**
相談日時 **第1木曜日 17:00～19:00**
- **予約ダイヤル 059-233-1131**
予約受付時間 **開館日の9:00～19:00**
相談当日は **9:00～16:30**

お一人1回30分の相談枠を予約できます。予約ダイヤルでニックネームと相談日時をお伝えいただき、その予約日時に専用ダイヤルに直接おかけください。予約なしでも、予約が入っていない限りは相談時間内でお受けしています。どうぞお気軽にご利用ください。

H22年5月は
第2木曜日(13日)になります

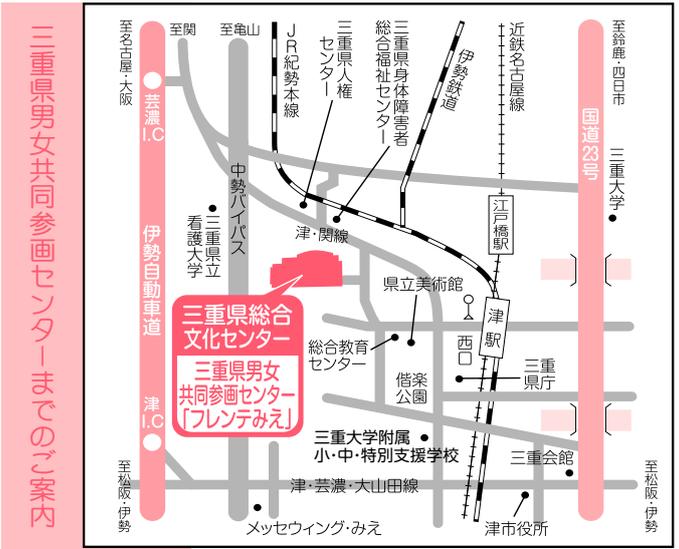


よろしく
お願いします！

2010年度
情報誌 Frente

いつも情報誌をご愛読いただき、ありがとうございます。2010(平成22)年度4、7、10、1月に発行の予定です。今後も男女共同参画の最新情報をわかりやすく、ダイジェストにお届けしていきます。ご覧いただいたみなさまのご意見やアンケートを参考に読みやすい誌面作りをめざしていきます。

これからも情報誌 **Frente** を
どうぞよろしくお願いいたします



休館日 毎週月曜日
年末年始
(12月29日から
1月3日まで)

交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分
■徒歩/津駅西口から約25分
■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
※できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター
三重県男女共同参画センター フレンテみえ

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
TEL: 059-233-1130 FAX: 059-233-1135
URL <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/>
E-mail: frente@center-mie.or.jp